

「不登校傾向にある生徒への支援体制の充実」

— ほっとルーム事業でのボランティア指導員と
連携した指導を通して—

前橋市立粕川中学校 酒井 寛治

○研究の概要

本研究は、従来の学校関係者によるサポートチームに、「学校を介在としない」指導員を加え、支援体制の強化(ほっとルーム機能)を図りその効果について考察するものである。

人間関係づくりにつまづいている生徒に、これまでの「学校」からの支援に「社会」からの支援を加えることによって、心の安定を図ることをねらいとし、その支援体制の強化について取り組んだものである。

図 1 構想図

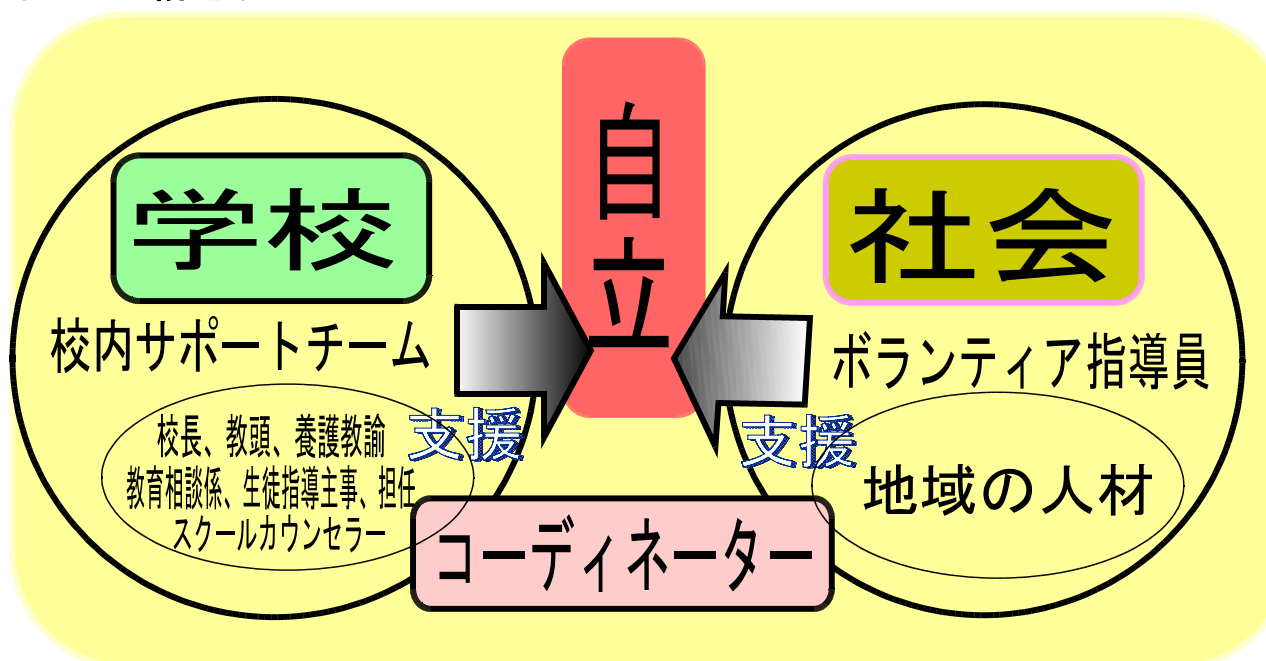


図2 ボランティア指導員の支援

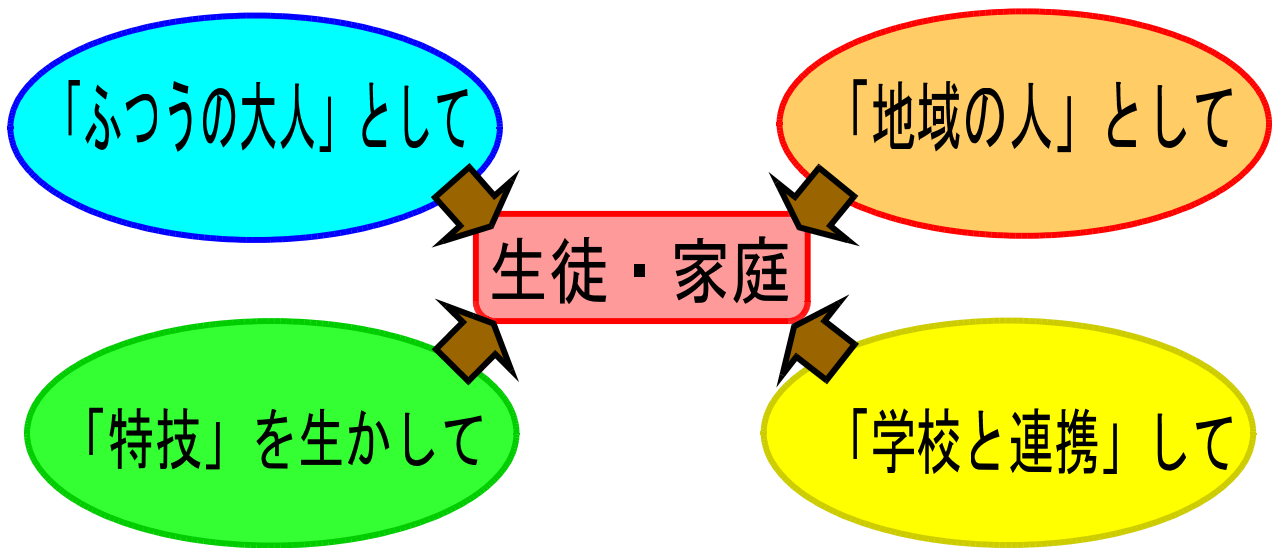
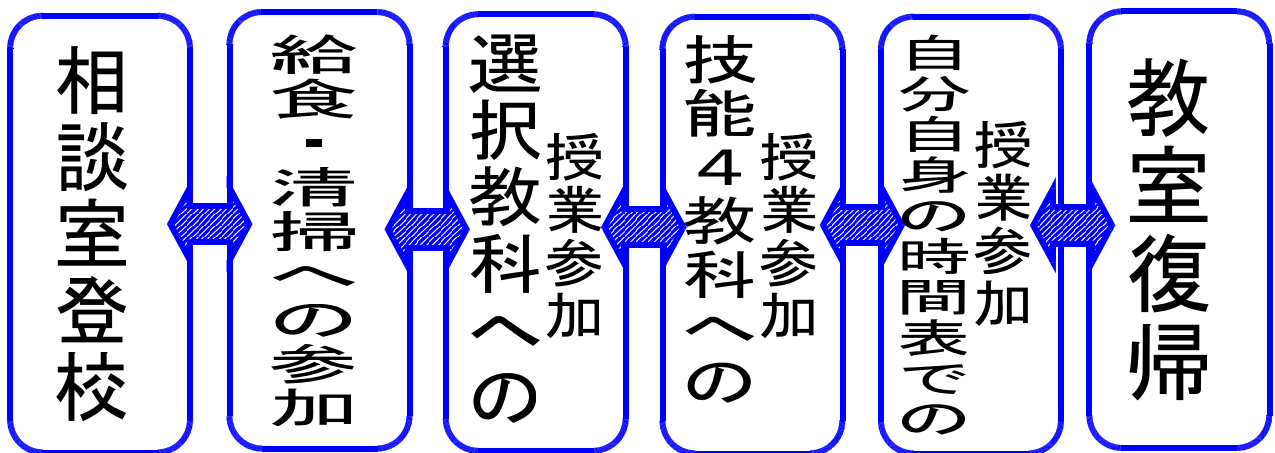


図3 支援のサイクル



生徒・家庭から



- 近所のおばさんみたいで話しやすい。
- 「学校」や「授業」のことを気にしないで、話せるのがいい。
- 子育ての先輩としてアドバイスをもらえた。
- 先生とは違ういろいろなことを教えてくれた。